

- 1 春泥を靴より剥がし教祖誕生
- 2 ぶらんこに教祖降臨宣言書
- 3 啓蟄や教祖やさしく夕餉食ふ
- 4 藤棚のかをり教祖の服に染む
- 5 陽炎に教祖溢れてゐる世間
- 6 朧夜のこゝろを知つてゐる教祖
- 7 教祖いま桜の輪廻に在るなり
- 8 融解し啓示し春の夜の教祖
- 9 霞より来る教祖讃えよ So be it.
- 10 リラの庭教祖あゆみてひかりけり
- 11 梅真白教祖しづまに生きてをり
- 12 時間に並行 春の雷追ふ教祖
- 13 空間に並行 春の暁吸ふ教祖
- 14 真理に並行 春の山道往く教祖
- 15 神意に並行 春の憂鬱知る教祖
- 16 我欲に並行 春の夕焼蹴る教祖
- 17 啓示に並行 春の理科室去る教祖
- 18 倫理に並行 春のみづうみ呑む教祖
- 19 麗らかや教祖に傷の無かりせば
- 20 春惜しむやうな教祖の薬指
- 21 許されてゐる殺人は教祖の為
- 22 殴られてゐる男性は教祖の為
- 23 奪はれてゐる童貞は教祖の為
- 24 買はされてゐる水晶は教祖の為
- 25 嫌はれてゐる言ひ訳は教祖の為

- 26 「ロマンスとしての教祖の夏来る」
- 27 「はつなつの教祖はまさにエスプリです」
- 28 「はつなつの 性 生 死 照る日に教祖」
- 29 「六月は教祖の力科学の力」
- 30 「偽の夏偽の教祖の偽証かな」
- 31 「公団や風死してゐる教祖遊説」
- 32 「薔薇呉れし少女に教祖笑みけらし」
- 33 「薔薇在るや教祖虚空を打ち 哭ぶ」
- 34 「村しづかバナナを筆り取る教祖」
- 35 「審美てふ李と教祖在り真白」
- 36 「信者水葬 流動的炎天下に教祖」
- 37 「信者水葬 回転する紫陽花と教祖」
- 38 「信者水葬 蛙を潰す教祖の目」
- 39 「信者水葬 手を灼かれゐる教祖かな」
- 40 「信者水葬 教祖と金魚屋の談話」
- 41 「信者水葬 教祖の夏に縊鬼のこゑ」
- 42 「信者水葬 暑く教祖の在る飯屋」
- 43 「山荘は仲夏教祖は息を止め」
- 44 「浮き出づる教祖の背骨水中花」
- 45 「教祖暗殺計画兼花火大会」
- 46 「戸を挟み教祖の愛を聞きにけり」
- 47 「戸の奥に教祖涙を隠すらし」
- 48 「戸をひらくとき教祖のみ坐りけり」
- 49 「戸を閉めて教祖の笑みを忘れざり」
- 50 「戸の先の教祖しづかに息を吐く」

- 51 流星の真下教祖は釘を刺す――
- 52 教祖高らかに笑ひて栗の落ちる道――
- 53 桃齧る教祖の指の白きこと――
- 54 鰯雲教祖の旅に渡りけり――
- 55 アノマロカリスの化石に教祖花野を想ふ――
- 56 美女を抱く教祖の傍を河澄めり――
- 57 教祖流離ふ雨もみぢなる家具屋前――
- 58 爽やかや竹林に教祖の哀歌――
- 59 棄てられてゐる傘を見てゐる葉月の教祖――
- 60 鬼灯を採る少年と教祖の帰路――
- 61 教祖哀歌 刈田に立つてゐる義兄――
- 62 教祖哀歌 しけ寒のなか浮木往く――
- 63 教祖哀歌 アンドロメダを見る義兄――
- 64 教祖哀歌 名月の下浮木往く――
- 65 教祖哀歌 いなづまを背に義兄の顔――
- 66 教祖哀歌 野霧に浮木往きてかへらず――
- 67 教祖哀歌 すさまじく義兄の失踪――
- 68 教祖哀歌 且つ散る河の浮木欠く――
- 69 芋虫をつゝく教祖の仏頂面――
- 70 懺悔する九月尽教祖の怒号――
- 71 実存の国に教祖は遊びけり――
- 72 鍵穴の闇に教祖が立つてゐる――
- 73 磨硝子教祖の顔の浮かびけり――
- 74 箆筒より鬼と教祖の溢れ出づ――
- 75 海原に教祖の背骨浮かびけり――

- 76 牡丹さへ教祖を慕ふ夜の来る――
- 77 おゝあゝと教祖の叫ぶ焼鳥屋――
- 78 右脳稚き教祖の雪兔に疑念――
- 79 教祖様仰る通り鯛焼が御座いません――
- 80 夜を寒み教祖のひとりあそびかな――
- 81 踊り狂ふいてふおちばと教祖かな――
- 82 色変へぬ松と教祖の恋文と――
- 83 童貞聖マリア無原罪の御孕りの祝日など教祖は知らず――
- 84 熱爛に教祖悶えてゐる月下――
- 85 氷海を眺むる教祖只管哭く――
- 86 鯨骨漂着 冬霧の奥ある教祖――
- 87 鯨骨漂着 教祖拾ひし吸入器――
- 88 鯨骨漂着 氷下魚を喰らふ教祖の背――
- 89 鯨骨漂着 緋の外套を脱ぐ教祖――
- 90 鯨骨漂着 教祖嘆きて羸の死――
- 91 鯨骨漂着 教祖のこゑに雪催――
- 92 鯨骨漂着 教祖のこゑに山ねむる――
- 93 世界的大寒波のち教祖笑む――
- 94 教祖踊らむとする吹雪のプラットフォーム――
- 95 闇群れてをり教祖いま声発す――
- 96 レーニンの肖像画に教祖「あっ」と言ふ――
- 97 厄年のをとこと教祖笑ひ合ふ――
- 98 でんきふのしたでかたらふけふそとをんな――
- 99 につぼんのみんなけふそのおともだち――
- 100 ぼくは教祖刺し殺されてさくらちる――